

「富田林版SDGs取組方針」の策定

主催：富田林市

1.取組タイプ	
I	会議体
II	登録・認証制度
III	拠点の設置
IV	協定締結
○	V その他

2.取組目的・概要	本市独自の取組方針を庁内外に発信・共有し、市域全体でSDGsの理念等に関する関心を高めていくことで、市民や団体、民間企業等、多様なステークホルダーとの連携・協働によるまちづくりのさらなる推進につなげる。
3.活動開始時期	令和元年7月12日策定
4.取組規模(会員数)	

5.取組の詳細	
<p>基本的方向1 SDGsの理念の理解促進</p> <p>①富田林版取組方針の策定・公表 SDGsの推進に向けた本市独自の取組方針を定め公表することで、理念の普及やステークホルダー間の意識共有につなげます。</p> <p>②SDGsの理念の普及・啓発 市職員や市民の一人ひとりが、SDGsの理念を理解し、その普及や実現に貢献できるよう、学ぶ場の開催等に取り組みます。</p> <p>基本的方向2 市政におけるSDGs要素の反映</p> <p>①総合ビジョン・総合基本計画とSDGsの関係整理 総合基本計画の各施策とSDGsの要素を紐づけることで、SDGsの実現にも寄与しながら、市の施策を着実に進める仕組みとします。</p> <p>②各課におけるSDGs要素の反映 各課が策定する個別計画等に、SDGsの要素を組み込むことで、各業務を通じた全庁的な推進につなげます。また、市民向け広告物等へのSDGsロゴの記載など、庁内の共通ルールを定め、市民等への理念の普及や関心を高めます。</p> <p>基本的方向3 SDGsを介した様々な連携の創出</p> <p>①SDGsを共通言語とした公民連携の推進 市政やまちづくりの各分野において、本取組方針を広く周知・共有することで、市民・企業・団体等、様々なステークホルダーとの連携を図り、地域課題等の解決に向けた取組につなげます。</p> <p>②SDGsを共通言語としたステークホルダー間の連携促進 様々なステークホルダー間の交流や連携を促進し、新たなイノベーションや課題解決に向けた取組の創出につなげます。</p>	
6.取組の活動予定・スケジュール	
<p>取組方針に基づき、総合ビジョンに係る第2期実施計画における各施策にSDGsの17のゴールを掲載し公表することや、SDGs企業セミナーの開催、とんだばやしプラスチックごみゼロ宣言、職員のエコ通勤チャレンジ、各課窓口への掲示物の設置、SDGsの周知・啓発を行うための統一した庁内共通ルールの作成、有識者による職員研修などを実施（10月10日開催予定）している。</p>	

7.関連するゴール



8.取組イメージ

国連 SDGsの探択

持続可能な開発目標：Sustainable Development Goals

・先進国と開発途上国が共に取り組むべき国際社会全体の普遍的な目標として2015年に採択。2030年に達成すべき17のゴールと169のターゲットが掲載されています。



日本 SDGs実施指針の策定

・全国的にSDGsの実現に向けた取組を進めるために2016年に策定。
・SDGsの推進にあたっては、全国の自治体及び地域で活動するステークホルダーによる積極的な取組を推進することが必要で、関係するステークホルダーとの連携強化等、SDGs達成に向けた取組を促進するものと掲載されています。

富田林市 SDGsの実現に向けた取組方針

「地球上の唯一人として取り残さない」とするSDGsの理念を市政に取り入れ、総合ビジョンに掲げたまちの将来像の実現につなげることで、富田林市としても全国・全世界的なSDGsの実現に貢献するとともに、SDGsを共通言語として、多様なステークホルダーとの連携・協働によるまちづくりを進めます。

基本的方向1 SDGsの理念の理解促進

①富田林版取組方針の策定・公表
②SDGsの理念の普及・啓発

基本的方向2 市政におけるSDGs要素の反映

①総合ビジョンとSDGsの整理
②各課におけるSDGs要素の反映

基本的方向3 SDGsを介した様々な連携の創出

①SDGsを共通言語とした公民連携の推進
②SDGsを共通言語としたステークホルダー間の連携促進



富田林市
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
市民 企業 団体 他主体

富田林市総合ビジョン まちの将来像の実現
ひとがきらめく！自然がきらめく！歴史がきらめく！
みんなでつくる 笑顔あふれるまち 富田林市



関連URL <https://www.city.tondabayashi.lg.jp/soshiki/4/30351.html> 令和元年度「SDGs地域レベルの官民連携見える化調査」